

玄洋社関係史料の紹介

石瀧 豊美

第 30 回

福岡表警聞懐旧談 (二十一)

(前号に引き続き、明治十年三月の「福岡の変」にたおれた人々の氏名・没年月日・年齢を掲載します。編集部)

◇ ◇

明治丁丑

福岡表警聞懐旧談 下

清漣野生編述

第十五回 (続き)

▼中村□吉 同十年四月一日 筑後国乙隈村ニテ戦死 同二十一才

▼中村狂太郎 同十年四月一日 同右 同十八才

▼長谷彦太郎 明治十二年四月十三日 大坂府在役中病歿 行年二十七年六ヶ月

▼中島庸一郎 同十二年四月十二日 兵庫県在役中病歿 同二十八年八ヶ月

▼村山稔 同十年九月十一日 和歌山県在役中病歿 同二十三年三ヶ月

▼内田惣五郎 同十一年五月十一日 神戸在役中病歿 同三十四才

▼能美重固 同十年四月一日 筑後国三沢村ニテ自

死 同二十一才

▼松尾栄太 明治十年八月廿五日 兵庫県在役中病歿 行年三十才

▼松浦愚 同十年六月廿五日 福岡監獄ニテ病歿 同二十六才

▼的野勝也 同十年三月三十日 早良郡金武近傍ニテ戦死 同四十八才

▼松井四郎 同十年四月二日 秋月ニテ戦死 同三十九才

▼野間温次郎 同十年四月一日 筑後国乙隈村ニテ戦死 同二十才

▼黒田平六 同十年四月一日 筑後国乙隈村ニテ戦死 同十八年八ヶ月

▼保田乙彦 同十一年八月二十六日 静岡県在役中病歿 同二十五才

▼安村惣一郎 同十年四月一日 筑後国横隈村ニテ



「福岡の変」にたおれた人々を合祀する「魂の碑」

▼船越平九郎 同十年三月廿八日 福岡城中ニテ戦死 同四十六才

▼権藤直五郎 同十一年十月一日 静岡県在役中病歿 同二十才

▼小島伴三郎 同十一年九月十九日 岐阜県在役中病歿 同二十六才

▼江藤優 同十年三月三十一日 肥前国久保山ニテ戦死 同二十一才

▼江上清 同十年四月一日 筑後国横隈村ニテ戦死 同十六才

▼阿部勝三郎 行年

▼味岡美徳 明治十年十一月十三日 岐阜県在役中病歿 同十九年一ヶ月

▼青柳義見 同十年八月十九日 兵庫県在役中病歿 同二十二年二ヶ月

▼佐野与十郎 同十年四月一日 筑後国横隈村ニテ戦死 同四十年五月

▼佐野円太 同十年四月一日 筑後国乙隈村ニテ戦死 同三十三才

▼佐野早太 同十二年五月一日 兵庫県在役中病歿 同三十一才

▼佐藤信麿 同十一年二月十三日 大阪府在役中病歿 同十八才

▼吉川侃 同十年三月三十一日 筑後国仲原地方ニテ戦死 同二十六年十一月

▼喜多原九郎 同十年三月三日 和歌山県在役中病歿 同二十四才

▼水島清 同十一年八月廿六日 神奈川県在役中病歿 同十八才

▼菅善三郎 明治十年三月廿八日 血山口往還ニテ戦死 行年二十三才

▼水野彦四郎 同十年四月一日 筑後国乙隈村ニテ戦死 同二十六才

▼水野乙吉 同十年四月一日 筑後国乙隈村ニテ戦死 同十六才

▼水野巴 同十年四月一日 筑後国乙隈村ニテ戦死 同二十五才

▼三好徳蔵 同十年四月廿九日 早良郡飯場村ニテ憤死ス 同三十五才

▼養原秀実 同十年四月一日 筑後国干潟ニ於テ戦死 同二十二才

▼柴田才作 明治十年十一月十七日 静岡県在役中病歿 同四十一才

▼志田隼太 同十年三月三十一日 佐賀県中原地方ニテ戦死 同三十三才

▼白柿稟太郎 同十一年八月廿三日 大阪府在役中病歿 同二十八才

▼樋口三二郎 同十年四月一日 筑後国乙隈村ニテ戦死 三十一才

▼平川喜三郎 明治十二年七月廿日 和歌山県在役中病歿 行年二十二才

▼森正巳 同十年十二月廿四日 兵庫県在役中病歿 同二十才

▼森久麿 同十年三月三十日(森寛忠の実弟) 水無口地方ニテ戦死 同十九才

▼陶山仁平太 同十年八月廿二日 神奈川県在役中病歿 同二十六才

以上合計九拾九名

内 五名刑死

五十一名戦死

此内 十一名 早良郡各方面ニ於

五名 秋月地方ニ

二名 薩摩国鹿兒島城山及其地方ニ於テ

四十三名 各府県在役中病歿

(永富永実)

(大島太七郎)

明治丁丑福岡表警聞懐旧談

※「以上合計九拾九名」とあるのは(一)書きの永富永実、大島太七郎を含めた数と思われます。

(石瀧)

石瀧氏の第6期近代史講座

テーマは「福岡事件史」大正・昭和編

「玄洋社関係史料の紹介」の筆者で「イシタキ人權学研究所」所長、福岡地方史研究会会長、福岡教育大学非常勤講師の石瀧豊美氏による近代史講座「よくわかる福岡博多の人物史」(NPO法人福岡歴史研究会主催)は、新年一月十日から六期目がスタートする。

年間テーマは「福岡事件史」の「大正から昭和へ」。昨年の「明治から大正へ」の続編で「人と事件」を切り口に個人の人生と事件のかかわりに光を当てる。

会場は福岡市中央区天神一丁目の「アクロス福岡」会議室。毎月一回第二土曜日午後三時から同五時まで

▼入会金 一般三千円、学生千円(古代史、近代史共通。前年からの継続会員は不要)

▼年会費 近代史、古代史それぞれ一般一万五千円、学生一万円。月払いの場合は一回一般二千円、学生千円。

【申し込み・問い合わせ】

同研究会(電話092・833・7576 FAX 092・833・7677)



第5期講座での石瀧氏